

病理診断科

1 部門目標

- 1) 迅速で正確な診断を目指す。
- 2) 学会や検討会に積極的に参加し、知識の更新、研鑽に努める。

2 業務体制・スタッフ

1) 病理診断科・医師

非常勤医師 山崎 一人 (帝京大学ちば総合医療センター病理部・教授)

非常勤医師 石田 康生 (千葉県済生会習志野病院病理部・部長)

非常勤医師 米盛 葉子 (千葉ろうさい病院病理診断科・副部長)

※3名とも病理専門医・細胞診専門医。

2) 臨床検査科病理検査部門・臨床検査技師

主任臨床検査技師 佐々木 瞳 (細胞検査士、令和3年9月～、産休・育休)

臨床検査技師 小澤 貴裕

臨床検査技師 梶原 すみれ (産休・育休)

臨床検査技師 椎谷 直樹

主任臨床検査技師 西野 武夫 (細胞検査士、週3日勤務)

会計年度任用職員 工藤 輝希

3. 業務内容

業務は病理診断、細胞診断、術中迅速診断、病理解剖から成る。

- 1) 精度管理：病理診断、細胞診断ともに、診断精度を上げ、ヒューマンエラーを回避するために、可能な限りダブルチェック体制で行った。
 - 2) 令和3年7月末まではバーチャルスライド作成装置を活用したテレパソロジーにより術中迅速診断を実施した。
 - 3) 細胞検査士1名が産休取得し、細胞検査士2名によるダブルチェックが不可能となったため、細胞診業務を令和3年8月以降、千葉細胞病理検査センターに外部委託とした。
- ## 4 業務実績〈令和3年度年間統計〉(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

- 1) 病理組織診断件数 2976件
- 2) 細胞診断件数 1881件
- 3) 術中迅速診断件数 8件
- 4) 病理解剖数 0件

5. CPC

- 1) 開催日時：令和4年1月27日(木) 18:30～19:30
- 2) 演題：「著明な白血球増多を認めた肝臓癌の1例」
- 3) 発表初期研修医：藤森 あゆ未、山下 大輝、中曾根 広拓、比嘉 奈津貴
- 4) 指導医：野本 裕正 (消化器内科統括部長)
- 5) 病理医：石田 康生 (千葉県済生会習志野病院病理部部長)
- 6) 参加者：21名

6. 学会参加

- ・石田 康生、木全 亨一郎、山崎 一人：Regulation of Ca-signals by calcium dependent potassium channel (IKCa)-Effect of channel inhibitor-, clotrimazole. 第111回日本病理学会総会、令和3年

7. 2009年～2021年における病理組織診断件数・細胞診検査件数の推移

